

お知らせ



シトロエン C3 において、仕様の変更などにより、取扱説明書の本文の記載と異なる部分がありますので、以下のように追記させていただきます。

○レーンデパーチャーウォーニングの作動と解除について（第3章 3-18ページ「レーンデパーチャーウォーニングの作動と解除」）

レーンデパーチャーウォーニングを作動／解除する運転席側のダッシュボードのスイッチが廃止されたため、機能の作動／解除方法が変更されました。レーンデパーチャーウォーニングの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

レーンデパーチャーウォーニングを作動または解除すると、メッセージが表示されます。

○ドライバーアテンションアラートの作動と解除について（第3章 3-20ページ「システムの作動と解除」）

ドライバーアテンションアラートの作動／解除の設定の仕様が変更されました。

変更前

イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

変更後

エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

○ディスタンスアラートの警告時間の設定について（第3章 3-23ページ「警告時間の設定」）

ディスタンスアラートの警告時間の設定項目名称が変更されました。機能には変更はありません。

変更前

標準

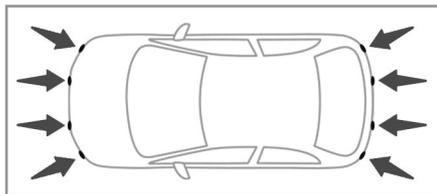
変更後

ノーマル

○フロントソナー／バックソナーについて

一部の車両にはフロント／バックソナーが標準装備されています。

●フロント／バックソナー

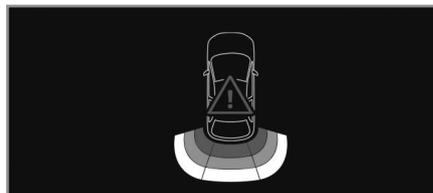
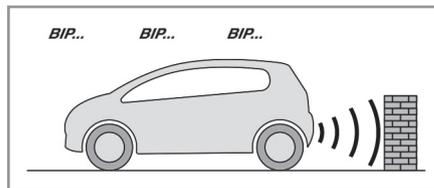


フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。

システムは、エンジンが始動している状態でシフトレバーを **R** に入れると作動します。シフトレバーを **R** 以外に入れると、システムは解除されます。

以下のとき、フロントソナーは作動を停止します。

- ・ 時速 10km 以上のとき
- ・ 前進方向で 3 秒以上停止したとき
- ・ 障害物が車両前方の検知範囲から出たとき



フロント／バックソナーは、警告音と表示の色で運転者に車両と障害物とのおよその距離をお知らせします。

障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ 30cm 以内に接近すると連続した警告音に変わります。

表示の色は、障害物までのおよその距離を表示します。

- ・ 白色のバー：遠い
- ・ 橙色のバー：近い
- ・ 赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

フロント/バックソナーの設定

フロント/バックソナーの機能をオン/オフするには、タッチスクリーンで設定します。



イグニッションをオフにしてもシステムの設定の記憶は残ります。

システムの異常

この機能に異常がある場合は、シフトレバーを R に入
ると短い警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、
メッセージが表示されます。

シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告

- 以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
 - センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
 - 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
 - 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
 - フロント/リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
 - 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）
- 以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
 - 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
 - 背の低いもの
 - 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

⚠ 警告

- フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。



- シフトレバーを**R**に入れたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。
- フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。
- けん引するときや自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを解除する必要があります。

○ヘッドランプの点灯／消灯について（第4章 4-17 ページ「ライトスイッチ」）

0 ヘッドランプは、エンジンが始動している状態のときは消灯することができません。ヘッドランプのレバーのリングをこの位置に回すと、イグニッションがオフのときはランプが消灯します。エンジンが始動している状態のときはデイトタイムライトが点灯します。

○インテリジェントハイビームについて（第4章 4-20 ページ「作動を中断する」）

インテリジェントハイビームは、リアフォグランプを点灯させると自動的に機能が一時中断されます。リアフォグランプを消灯すると、機能が再度作動します。

○タッチスクリーンの車の設定項目について（第5章 5-11ページ「設定項目一覧」）

次の機能の作動／解除はタッチスクリーンで設定します。

- ・ レーンデパーチャーウォーニング
- ・ フロント／バックソナー

アイコン		設定項目	追加設定項目	
	ドライビング機能	レーンデパーチャーウォーニング	アイコンにタッチすると、レーンデパーチャーウォーニングがオン／オフします。	-
		パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、フロント／バックソナーがオン／オフします。	-

○プライバシーの設定について（第5章 5-13ページ「設定項目一覧」）

プライバシーの設定項目名称が変更されました。機能には変更はありません。

変更前

データ及び車両位置情報をシェアしない

変更後

会社の車両以外はデータ共有ができません

○固定リングについて（第5章 5-15ページ「各部の名称」）

固定リングは、一部の車両には装備されていません。

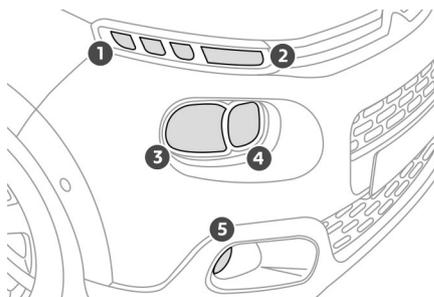
○マップランプについて（第5章 5-17ページ「マップランプ」）

マップランプは、一部の車両には装備されていません。

○ヘッドランプについて（第6章 6-7ページ「ヘッドランプ」）

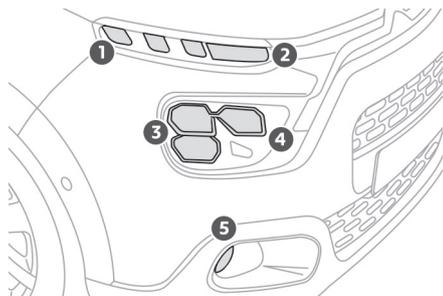
ヘッドランプの仕様変更されました。

変更前



- ①：デイトイムライト／ポジションランプ (LED)
- ②：方向指示器 (PY21 W)
- ③：ロービームヘッドランプ (H7)
- ④：ハイビームヘッドランプ (H7)
- ⑤：フロントフォグランプ (PSX24 W)

変更後



- ① : デイタイムライト／ポジションランプ (LED)
- ② : 方向指示器 (PY21 W)
- ③ : ロービームヘッドランプ (LED)
- ④ : ハイビームヘッドランプ (LED)
- ⑤ : フロントフォグラмп (PSX24 W)

⚠ 警告

- LED ランプに触らないでください。感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- 点灯中のヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LED ヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

MEMO

ヘッドランプ類の交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

